

＜先週の説教から＞

『詩編 54 — 神よ、耳を傾けてください』

武田真治牧師

詩編 54:1~9 マタイ福音書 26:36~46

毎月、最後の日曜日には『詩編』を一つづつ読み進めています。今日の詩編54篇には「表題」として「ダビデの詩、ジフ人が来て、サウルに『ダビデがわたしたちのもとに隠れている』と話したとき。」とあります。この出来事は旧約のサムエル記上23章14節以下にあります。ダビデがまだ王様になる前、サウル王から王位を奪う者として命を狙われて、ユダの山地を逃げ回っていた時のこと、たまたま身を寄せたジフの町の住民が、ダビデを裏切り、サウル王に取り入れるためにダビデの居場所を密告した出来事のことです。同じユダ族のジフの人達にまさか裏切られるとは、ダビデは思ってもいなかったことであり、痛恨の出来事でした。

故に、この詩の書き出しが「神よ、御名によってわたしを救い、力強い御業によって、わたしを裁いてください。わたしの祈りを聞き、この口にのぼる願いに耳を傾けてください」と切実に懇願しているのです。しかも、ここでわざわざ「裁いてください」と願っているのは、自分の潔白を証明してくださいという願いもありますが、自分を裁くためでもいいから、今、ここに来てくださいというギリギリの願いなのです。この時のダビデの心境がよく表されていると言い得ます。

ただ、その次の節に「異邦の者がわたしに逆らって立ち、暴虐な者がわたしの命をねらっています」とあります。この「異邦の者」という翻訳は少し首をかしげてしまいます。なぜなら、ジフの人達はダビデの同族で、だからこそ裏切られたことがショックになるのです。実は、前の口語訳聖書は「高ぶる者が私に逆らって起こり」と訳していました。どうやら、原文でも二通りの読みがあるようです。ただ、最近の英語訳は(Insolent men＝横柄な者たち)や(Proud men＝高慢な者たち)と訳しています。ユダヤ人たちがギリシア語に訳した『70人訳・セプチャアギンタ(＝カトリックのラテン語訳旧約聖書の元になった)』が「異邦人たち」と訳していることを新共同訳は尊重したのかもしれませんが。

なぜ、この点にこだわるのかと申しますと、次に来る言葉が「彼らは自分の前に神を置こうとしない」だからです。この「彼ら」が「異邦の者」であるなら当然でしょう。しかし「高慢な者」であるなら、それは同じイスラエルの民、ユダヤ人でも「自分の前に神を置こうとしない＝何か行動をしようとする時に神様のことを考慮しない」者がいるということになり、それこそ“信仰を基準に生きようとしないう者”が神の民の中にも存在する、人間の持つ《罪の問題》を投げ掛ける言葉となるからです。このような知人や友達に裏切られることは私たちにも起こり得ることではないでしょうか？

この後、新しい『聖書協会訳』では「わが主は私の魂を支える人々の中におられる」と訳しています。辛い時に、魂を支えてくれる仲間の存在こそ主が備えて下さる方々なのです。

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 9月10日(水) 20:00

II. 9月11日(木) 10:30

聖書研究: ローマの信徒への手紙

祈祷主題: 礼拝長期欠席者を覚えて

担当者: (水) 喜嶋 (木) 細川

祈りに覚える人: 吉川さん 吉澤さん

【教勢報告】

主日礼拝 男15 女47 計62

祈祷会 I. 男4 女2 計6 II. 男1 女6 計7

日曜学校 幼稚科4 小中科6 計10

【次週主日礼拝】 9月14日(日)

聖書: 列王記下 5:9~14

ルカによる福音書 7:6~10

説教: 「ルカ54 — 言葉が持つ癒しの力！」

武田真治牧師

讃美歌: 182(1)、32、355、470、492、

【次週当番表】 91(1)

司式: 飯田長老 奏楽: 須田 礼拝: 茨木長老

献金: 長田 中村 受付: 鈴木 橋本

会堂準備: 飯島 岡本 金刺 中村

森本

看板: 岩佐 週報: 金刺 お花: 羽倉

【次週集会予定】

礼拝前: ・聖書輪読会 ・求道者会

礼拝後: ・敬老祝福式 ・お茶の会 ・牧師と語る会

・壮年会 ・婦人会 ・東神大埼玉地区講演会

・改長協青年納涼修養会

66 - 36

週報

2025年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

2025年 9月 7日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549